

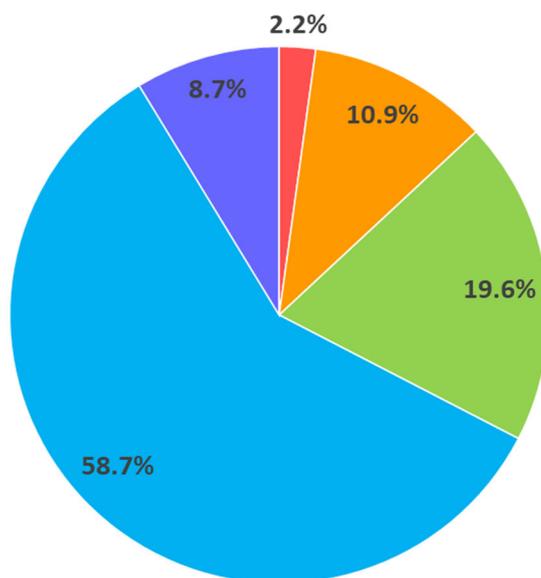
SSH中間評価（令和7年度実施）の結果について（総括）

対象校46校について、SSH企画評価会議協力者による総合評価及び項目別評価を行った。

総合評価

項目別評価の結果を合計し、6段階評価で行った。一定程度以上の高い評価を受けた学校が32.7%、一層の改善努力が求められる学校が58.7%、このままでは研究開発のねらいを達成することが難しいと思われる学校が8.7%であることが認められた。なお、今後の努力を待っても研究開発のねらいの達成が困難であると思われる学校はなかった。

(1) 構成比



【評価の目安（6段階）】

- 優れた取組状況であり、研究開発のねらいの達成が見込まれ、更なる発展が期待される
- これまでの努力を継続することによって、研究開発のねらいの達成が可能と判断される
- これまでの努力を継続することによって、研究開発のねらいの達成がおおむね可能と判断されるものの、併せて取組改善の努力も求められる
- 研究開発のねらいを達成するには、助言等を考慮し、一層努力することが必要と判断される
- このままでは研究開発のねらいを達成することは難しいと思われるので、助言等に留意し、当初計画の変更等の対応が必要と判断される
- 現在までの進捗状況等に鑑み、今後の努力を待っても研究開発のねらいの達成は困難であり、スーパーサイエンスハイスクールの趣旨及び事業目的に反し、又は沿わないと思われるので、経費の大幅な減額又は指定の解除が適当と判断される

(2) 各対象校の状況

【優れた取組状況であり、研究開発のねらいの達成が見込まれ、更なる発展が期待される（1校）】

福井県立武生高等学校

【これまでの努力を継続することによって、研究開発のねらいの達成が可能と判断される（5校）】

学校法人茗溪学園 茗溪学園中学校高等学校

栃木県立栃木高等学校

兵庫県立龍野高等学校

愛媛県立宇和島東高等学校

鹿児島県立国分高等学校

【これまでの努力を継続することによって、研究開発のねらいの達成がおおむね可能と判断されるものの、併せて取組改善の努力も求められる（9校）】

茨城県立水戸第二高等学校

群馬県立前橋女子高等学校

新潟県立新発田高等学校

新潟県立長岡高等学校

愛知県立半田高等学校

三重県立津高等学校

大阪府立大手前高等学校

大阪府立高津高等学校

大阪府立四條畷高等学校

【研究開発のねらいを達成するには、助言等を考慮し、一層努力することが必要と判断される（27校）】

北海道釧路湖陵高等学校

市立札幌旭丘高等学校

学校法人札幌日本大学学園 札幌日本大学高等学校

青森県立青森高等学校

宮城県多賀城高等学校

山形県立致道館中学校・高等学校

埼玉県立越谷北高等学校

埼玉県立松山高等学校

東京都立立川高等学校

学校法人玉川学園 玉川学園高等部・中学部

学校法人中央大学 中央大学附属高等学校

神奈川県立小田原高等学校

愛知県立豊田西高等学校

三重県立四日市高等学校

京都市立京都工学院高等学校

大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎

大阪府立富田林高等学校・中学校

奈良県立奈良北高等学校

学校法人奈良学園 奈良学園中学校・高等学校

和歌山県立向陽高等学校・中学校

学校法人鶏鳴学園 青翔開智中学校・高等学校

島根県立出雲高等学校

山口県立下関西高等学校

愛媛県立西条高等学校

長崎県立大村高等学校

長崎県立長崎南高等学校

熊本県立宇土中学校・宇土高等学校

【このままでは研究開発のねらいを達成することは難しいと思われるので、助言等に留意し、当初計画の変更等の対応が必要と判断される（4校）】

秋田県立秋田中央高等学校

学校法人豊島岡女子学園 豊島岡女子学園高等学校

神奈川県立希望ヶ丘高等学校

西宮市立西宮高等学校

【現在までの進捗状況等に鑑み、今後の努力を待っても研究開発のねらいの達成は困難であり、スーパーサイエンスハイスクールの趣旨及び事業目的に反し、又は沿わないと思われるので、経費の大幅な減額又は指定の解除が適当と判断される（0校）】

該当校なし